

平成30年6月5日

関係の皆様へ

島根大学教育学部長 加藤 寿朗
学習生活支援研究センター長 小川 巖

平成30年度 島根大学教育学部附属学校

学習生活支援研究センター研修会の御案内

(第一次案内)

平素より、本学校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本センターでは平成27年度より、附属中学校教員との協働によるUDL(Universal Design for Learning: 学びのユニバーサルデザイン)の実践研究に取り組み、子どもたちが多様な学びにより主体的に学べる授業づくりを目指してきました。この度、その実践をもとにした「UDL研修会」を企画いたしました。

本研修会は、中教審答申において「子どもたちに育てたい姿」として挙げられている「必要な情報の判断」「多様な人々との協働」「試行錯誤しながらの問題の発見・解決」につながる授業の在り方について、学びを深める機会でもあります。今回は、国内におけるUDL研究の中心的役割を担っておられる北海道教育大学の川俣智路先生をお迎えし、「UDLの理論を学ぶ」「実践例からUDLを学ぶ」「子どもたちの目線から多様な学びを体験する」「多様な学びを提供できる授業づくりを考える」の四つの活動を通して、UDLの理論から実践までじっくり学びを深めることのできる研修となっております。

つきましては、多くの皆様に御参加いただきますよう、御案内申し上げます。

UDL※(Universal Design for Learning: 学びのユニバーサルデザイン)研修会

- I: 学び① 「『UDL』ってなに？」 (講話)
- II: 学び② 「実践例をもとにUDLのポイントを学ぼう」 (パネルディスカッション)
- III: 体験① 「子どもの目線で活動してみよう」 (演習)
- IV: 体験② 「UDLの視点から授業づくりを考えよう」 (グループ演習)

※UDL: 米国非営利団体CASTによる、子どもたちが多様な学び方を選択しながら取り組める授業を提供することで、「学習者の育成」を目指す、授業の骨組を示したものです。

【期日】

平成30年8月23日(木)

【会場】

島根県浜田合同庁舎(浜田市片庭町254)

【日程】

9:30~ 受付

10:00~16:30 研修

【主催】島根大学教育学部附属学校 学習生活支援研究センター

【共催】島根県立浜田養護学校 【後援】浜田市教育委員会

*本研修会の詳細及び参加方法については、6月下旬にお届けする第二次案内にてお伝えします。